

今後のまちづくりの提案や広聴のあり方の検討について

令和 元年12月18日

三島支所地域振興課

1 主旨

[主旨]

地域の代表機関として活躍してきた地域委員会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域の現状と課題を総合的な視点から照らし合わせながら、今後の地域づくりに相応しいまちづくりの提案や広聴機能の形について、幅広く議論していただきたい。

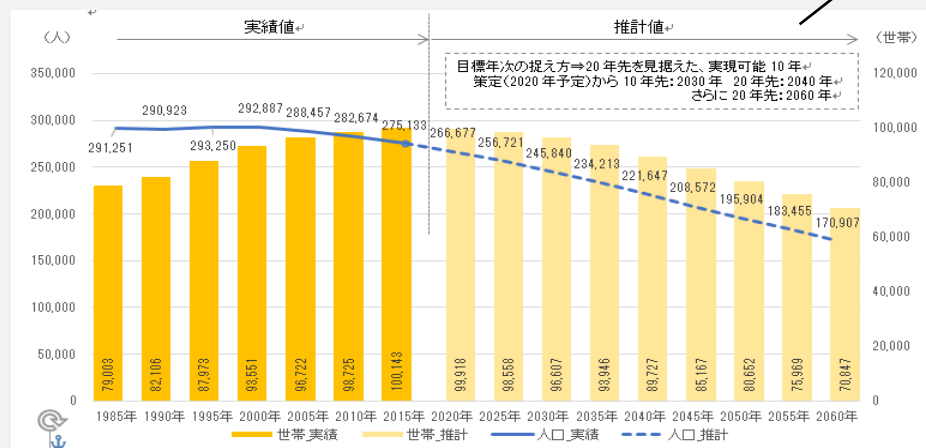
[背景]

- 合併後、支所地域におけるまちづくりの検討や広聴の代表機関として、地域委員会を設置
- 15年にわたり、地域における振興策や生活課題への対応などを議論。ふるさと創生基金事業や地域の宝磨き上げをはじめ、少子化を背景とする小学校や保育園の統合、交通対策、コミセンの開設、新たな活動の誘発など、様々な成果を創出してきた。
- 一方、いずれの地域においても人口減少、高齢化は着実に進んでおり、地域の担い手不足はいずれの地域においても懸念されている。
- そのようななか、地域には区長会や総代会、コミセン協議会など住民代表が集う様々な組織が存在し、広聴機能の効率化を求める意見も散見されるようになってきた。
- また、若い世代の多様な活動が芽生えている地域もあるなかで、次代を担う若者の意見を積極的にまちづくりに活かすことが、地域の活力維持につながるといった意見も聞かれる。

2 三島地域の現状と課題

(1) 全市人口及び世帯数の推移と将来見通し

別紙参照



※三島地域の震災前後の比較

	人口 (人)	高齢者人口 の割合 (%)	年少人口 の割合 (%)
H16.4.1 (2004年) 《震災前》	7,442	25.1	14.7
H31.4.1 (2019年) 《震災後》	6,733	32.3	11.7
増減	▲ 709	7.2	▲ 3.0

年少人口：0～14歳
高齢者人口：65歳以上

(2) 地域の主な課題

- ・ 少子高齢化の対策
- ・ 空き家、空き地の適正管理
- ・ 耕作放棄地の活用
- ・ 公共交通機関の維持
- ・ 小学校、保育園の運営
- ・ 一級河川改修の促進

(3) 広聴組織、団体の状況等

- ・ **三島地域区長会**
各区長が地元町内の要望等を集約しているが、区長会として要望事項の集約はしていない。
(ほとんどの町内で区長の任期が1年なので、継続的な事案の検討ができない)
- ・ **みしまコミュニティ推進協議会**
コミセンまちづくり部会で、まちづくりに関する話し合いを行っている。
- ・ **みしまマルシェ実行委員会、ともプラス**
若い世代を中心とした団体で、イベント等を通じて地域の活性化に関する取り組みをしている。

3 三島地域委員会が果たしてきたまちづくりへの提案・広聴機能

[まちづくりの提案]

- ・三島地域の宝(地域資源)を「三島の里山」と位置づけ、里山の整備・保全活動を検討し、住民に提案したことが、越後みしま竹あかり街道や里山資源活用プロジェクト等の事業への取り組みのきっかけとなった。
- ・子どもたちの登下校の安全について、町内・PTA(保護者)・学校等とワークショップを開催したり、中学生にアンケート調査を実施するなど調査し取りまとめ、市へ提出と住民に提案したことにより、見守り活動への理解が深まり、活動の輪が広がっている。

[広聴機能]

- ・地域委員会で市の予算や事業、防災行政無線の廃止に向けた説明の際、市の施策の参考となる貴重な意見が得られた。
- ・安全で安心して暮らせる地域づくりについて、町内会に対して地域の集まりや災害時の情報共有の状況等についてアンケート調査を行った。
- ・地域の課題の検討の参考として、コミセンや行政、その他の団体から地域内の状況等についてヒアリングを行った。

4 今後の検討テーマ(案)

次のテーマについて幅広く御意見をいただきたい。

- まちづくりに関する地域住民の意見・提案をお聞きする「広聴の仕組み」として
相応しい形は・・・
- 多様な地域課題に対し、実のある検討を柔軟に行う「検討の仕組み」として
相応しい形は・・・